

第212号

2026年6月27日発行
発行者 日本共産党利島支部
笹岡 寿一

〒100-0301
東京都利島村850番地
電話 04992-9-0191
Fax 04992-9-0241
メール: to_sasaoka@sea.plala.or.jp

あしたば

日本共産党利島支部機関紙

<知は力> 豊富な内容と真実を伝える
「しんぶん赤旗」日曜版をご購読下さい【月990円】

村の政治は村の人々の為に
あります。皆さんのご要望・
ご意見などお寄せ下さい！

戦争はイヤ———の思い
日本共産党へ

アメリカ・イスラエルのイラン攻撃「支持しない」86%



「イラン攻撃は不当」山添拓政委員長、吉良よし子参院議員が訴え。東京・新宿で党緊急街宣=3月22日

アメリカいいなりの日本でいいのか

高市首相 「平和と繁栄をもたらせるのはドナルドだけ、戦争と混乱をもたらしているドナルド・トランプ米大統領を天まで持ち上げ、イラン攻撃を事実上支持、——あまりにも卑屈な姿勢ではないでしょうか。」

ウォルツ米国連大使(米CBSテレビ、3月22日)
「日本の首相から海軍による約束を取り付けたばかりだ、」

ドイツ大統領
イラン交戦は「不要な戦争」
トランプ政権を痛烈批判
(時事通信3月24日付)

トランプ氏が求めるホルムズ海峡への自衛隊派遣について、米国連大使が発言。無法な戦争に日本が協力できることなど何一つありません。

軍事費突出、軍拡増税——新年度予算 軍拡と原油高騰で暮らし圧迫

トランプ政権の要求にこたえて、長射程ミサイルの配備や弾薬庫の増設など、軍事費は当初予算で初めて9兆円超え。軍拡増税を開始し、国民から所得税を1%徴収。イラン戦争による原油高騰で、暮らしを圧迫しています。



アメリカにも中国にも、言うべきことを言う 憲法9条いかし、自主自立の外交を



「イラン攻撃の即時停止、戦争終結のための外交交渉を」——志位和夫議長がイランのペイマン・セアダット駐日大使と会談=3月30日、党本部

「中国脅威」をあおり、アメリカいいなりに大軍拡をすすめる高市政権。特定の国を敵視し、排除する政治は、軍事対軍事の悪循環をもたらし、平和を脅かすだけです。

戦争放棄の憲法9条があったからこそ、自衛隊は戦場で人を殺さず、戦死者も出していません。党をつくって104年、反戦・平和をつらぬく日本共産党をのばしてください。





笹岡寿一の

議会視聴記



2026年度・第2回定例会村議会は、6月9日(月)に開会しました。会期は12日(金)迄の4日間としました。実際には、10日の午前11時半に1日半足らずで閉会しています。行政報告と議員の一般質問、議案の内、「住民の皆さんに直接的に関係がある」と思われる事項の要旨をお知らせします。

議案は、8年度各会計補正予算案件3件、報告案件1件、改正条例案件4件、人事案件2件、契約案件1件の報告案件を除く、計9案件です。全て原案通り全議員一致で可決、又は同意、及び承認されました。今議会でも中継機器の不具合で収録が出来ず、「あしたば」発行が遅れました。議員の一般質問の内、木村議員の質問は後日、本人提供に依ります。大議議員の質問の一部は収録できませんでした。議員にはご了承願います。

6月議会で話し合われた内容です



第5次総合計画の策定

榎本総務課長「本計画は、令和8年度から令和17年度までの10年間を計画期間として策定したものです。」

計画の基本理念として、将来人口約300人の維持を目標に持続可能な村づくりを進めます。又、「住みたい・住み続けたい・帰ってきたい島」を将来像に掲げ、子育て、産業、福祉、防災、協働の5つの柱に基づき、施策を体系的に整理しています。今後は、本計画を村政運営の基本指針として、村民と行政が

一体となり、着実に施策を推進していきます。

新型インフルエンザ等対策行動計画の改定

榎本住民課長「今回の改定では、初動対応の明確化、関係機関との連携強化、医療提供体制の確保、住民への情報発信の充実などを中心に、本村の実情に即した内容へと整理しています。今後は、平時からの備えを強化し、感染症発生時に迅速かつ適切な対応ができる体制整備に努めていきます。」

交通災害共済事業の廃止

榎本住民課長「本事業は令和9年度を募集最終年度として廃止することが決定されました。今後は、民間保険サービスへの移行や基金の取扱い等について検討が進められる予定です。」

久保里山第2住宅の募集及び入居の状況

上野環境建設課長「5月に公募を行い、4名の応募があり入居を決定しました。6月以降順次入居します。」

渇水と対応状況

上野環境建設課長「貯水率70%台まで回復しました。皆様におかれましては、節水のご協力について感謝申し上げますと共に、今後も引き続き日常生活における節水の協力をお願いいたします。」

「まごえんがわ」

隅産業観光課長「名称を「まごえんがわ」とし、本年4月1日から運用を開始しました。4月の利用者は、延べ1,174人です。今後も仕事や観光での来島者にとって、各々の目的に応じて利用し易い環境の整備に努めていきます。」

椿害虫薬剤散布

隅産業観光課長「5月2日から5月17日までの期間に薬剤散布を87ha実施しました。」



見出しは笹岡



井口議員「年々雑草が多くなっています。管理を伺います。三室教育長」状況は認識しています。雑草の抜き取りや肥料の散布、土壌への空気注入といった部分的な補修を継続して実施していきたいと思っています。」



井口議員「住民から「住宅の後ろの東側の方が余りにも危険じゃないか」と言われて見に行ってきました。確かに、「東側の方が相当危ないのではないかな」と云う印象を受けました。前田環境建設主幹「状況確認を行って、防災上必要な措置を講じて行く考えでいます。」

大型公共事業と財政

高田議員 焼却場整備に関わって見えてきたものは、「大型起債による将来の財政の圧迫と当面の資金繰りの逼迫が同時に進行している」と云うことです。

今後水道、学校、住宅をはじめ多くのインフラ設備の更新を控えています。

財政力が限られる中で、どのような基準と計画に優先順位を付けて、財政とのバランスを取りながら実施していくのか、行政の考え方を明確にして頂くことが今回の質問の目的です。

議員は、「行政の考えを質すことが目的」として、大型インフラ整備事業に伴う債務負担行為、基金、起債、それに伴う公債費率等について、長時間を費やして質問しています。

現下の情勢は、議員指摘する迄もなく、行政も重々認識している事と思います。

“打ち出の小槌”はありません。議員自身、何らかの考え在っての提案はありませんでしょうか？

物価高騰の苦難の情勢下において、ひたすら行政の考えだけを追求求めるのではなく、行政に質す

立場から転じて、力を合わせて議会、行政が丸となって対応する考えはありませんでしょうか？

議員指摘の事業の他にも、目前に椿油製油工場が、「明日にでも」と云う状況下にあります。

国、都の援助を如何にして受けるか。東京都の総合交付金での特段の対応を求めるとか、国の離島振興法適用の道筋はないか。

今、話題の国境離島の指定を受けての対応策等々、国・都に陳情に行く、各政党に支援要請に行く、必要なら住民の協力を得て要望書署名を執っていく等、可能な限りの知恵と努力を協働して取り組んで欲しいものです。 〓世〓

予算審議の在り方

高田議員 本村では、予算審議が本会議のみで行われ、長期的な視点での十分な審議が行われにくい環境にあります。

本来であれば、財政の中長期的な持続可能性や見通し、財政運営の判断基準と云った情報を予め共有した上で予算の議決に挑むことが理想です。

近年の激しい物価高騰の情勢変化に反映した再計算などは行われているでしょうか？

榎本総務課長 物価高騰や人

権費の上昇は認識しています。社会経済を踏まえながら必要な見直しや試算を行っています。

予算審議の在り方については、ここに副議長が述べているとおりと認識しています。

議案審議の在り方は、議会の専権事項であり、当然のこと行政の答弁はありませんでした。

予算議決に至る審議時間を「理想」と云って片付けるのではなく、議会で決めさえすれば、いとも簡単に実現出来ます。

それが本村の現議会では、何故か議員の発言時間を制約する事に終始しているのが、絶たれていくに過ぎないだけの事です。

副議長には、如何に議員発言を短時間にするかに腐心するのでなく、取り分け予算審議には充分な時間を割いて、公開の場で審議する議会運営に尽力されることを期待しています。 〓世〓

第5次利島村総合計画

木村議員 この計画をどのよ

うな位置付けの物として捉えているかを聞かせて下さい。

榎本総務課長 本計画は令和8年度から令和17年度までの10

年間を見据えた本村の将来像と施策の方向性を示す最上位計画として位置付けています。

木村議員 この計画の策定に当って職員が何人で、どの部署が中心となって策定作業を進めて来たのか。村民の参加でアンケート以外に直接意見を述べた

り、議論に加わったり出来る場は設けられていましたか。

総合計画審議会は何回開催されたか示して下さい。

榎本総務課長 主に総務課を中心として関係課と連携しながら、検討を進めてきました。

村民アンケートを実施して、幅広い意見の把握に努めると共に、総合計画審議会に諮問してきました。

木村議員 答申の内容は計画にどう反映されていますか。

榎本総務課長 審議会からの答申では、大きく次の5つの視点から意見を受けています。

一、Uターン、Uターン促進に加え、現在住んでいる人の流出防止についても抜本的な施策を講じる。

一、移住者による発信や伝統地域文化の継承、村民同士の交流の機会充実。

一、椿産業や漁業の振興、新たな働き方の推進など地域経済を支える取り組みの必要性。

一、総合計画が村民にとって

分かりやすい内容とし、計画への理解を深める工夫。

一、計画の進捗や効果を定期的に確認しながら計画を着実に進める仕組みづくり。

これらの答申の内容を踏まえ、「300人で作る未来」を基本理念として、「住みたい、住み続けたい、帰ってきたい」を将来像に位置付けて、施策全体に反映を図っています。

木村議員 基本計画や実施計画に対する財政の裏付け等、実行の為の予定を伺います。

榎本総務課長 各分野の具体的な施策や事業について、個別計画や毎年度の予算編成、事業実施の中で、社会情勢や住民ニーズの変化にも対応出来るよう、施策の見直しを行いながら、「実効性のある運用に努めていきたい」と考えています。

財政面については、事業の優先順位付けや外部財源の活用等を含めて、総合的に検討していきます。

木村議員 私は、「人口を守ることは島の活力を維持する上で重要な課題」との認識で、これまで移住促進や教育環境の充実、地域コミュニティの向上等を繰り返し質問してきました。

村は、如何なる手段で300人の目標を維持しようとしているのか、具体策を示して下さい。

榎本総務課長 移住定住だけでなく、現在住んでいる方に住み続けたいと思っただけで、それが重要であり、子育て・教育環境、働く場、生活環境、地域コミュニティなど総合的に充実させ、「住みたい・住み続けたい・帰ってきたい」と思える島づくりを進めていきます。

木村議員 この計画の村民の受け止め方を確認するために、アンケートを実施してみてもいいでしょうか。住民が自分たちの意見が反映されているか、特に力を入れて欲しい分野は何処か、と云った内容を聴くことで、計画を村民の物として育てていく一步になると考えています。

榎本総務課長 アンケートは、「計画への関心や意見を把握する方法の一つ」と受け止めています。計画の進捗や施策実施の状況も踏まえながら、意見の把握や住民参加のあり方について検討していきます。



木村議員 村として適切な駆除方法や触れてしまった際の対処方法、成虫の注意事項など村民に周知する取り組みを行う考えはありますか。

隅産業観光課長 幼虫の段階での駆除を行い、接触した場合

の対処方法等は、IP告知端末等で周知を図ります。

木村議員 8月、9月のシーズンに前にして、今春の大量発生状況を踏まえ、住民の同意を得た上で、村内に於ける薬剤散布を実施する検討を求めます。

隅産業観光課長 村内の薬剤散布は、安全性など住民の理解等に配慮する必要があります。関係者と調整の上検討します。



大磯議員 島の歌や方言、郷土料理など失われつつある伝統文化を保存していく考えがあるか伺います。

三室教育長 島の伝統文化を今のタイムリックで確実に記録して、残すことは極めて重要であると認識しています。伝統文化の継承について、子供たち自身が島の文化の記録者となって副読本作りに関わる仕組みを学校現場で作れたらと考えています。

子供たちが島の宝である伝統文化を取材してデジタル技術を使って未来へ残していく改定プロジェクトですが、「愛情を育む最高の学びとなる」と思っています。

大磯議員 副読本の改定にあたり、「教職員だけで編纂する

のは無理がある」とかと思えます。住民や高齢者、有識者、島を離れた子供たちなど今を生きている人たちの声をどう取り入れていくのか考えを教えてください。

三室教育長 子供たちが主役となって島民を始め、先輩方からの声を聴いたりして、学校が教育的な副教材として編み上げていく活動を通して子供たち自身の学びの足跡が、そのまま形となるような、利島にしか出来ない副教材を学校と連携して作っていきたくと考えています。



石野議員 利用者が何時でも安心して利用出来る為の改善計画を聞かせて下さい。

村山村長 昨年度、貯水槽に水があれば利用出来る事とゴミ詰まりで水が出ない時は、強制的に押し出すポンプを設置する改修工事を実施しました。

湧水時には、ポリタンク等で補給する必要があり、職員の体制も含めて考えていきます。

石野議員 昨年度450万円以上も掛けて改修工事を終えたばかりの施設です。

根本的な改善策は、将来的な更新として何年も先の話を待たせていては、その間、住民や観光

客に不完全な状態のトイレを使わせ続けることになりません。これは村の観光インフラとしても、「非常に勿体無いこと」だと考えています。

今日の答弁には、がっかりしたんですが、現場の努力に甘えるのではなく、目指すべきは誰もが安心して使える施設の構築です。

最後に、村長としての明確な決断を期待して、一言ありましたら伺います。

村山村長の答弁はありませんでした。|| 答へ ||



石野議員 近年の人口は、300人程で停滞しています。定住施策が機能しているのか。「単に人の入れ替わりを加速させているだけではないか」と云う懸念を抱かざるを得ません。移住者が定住に至らず転出していく理由について、如何なる分析をしているのか伺います。

隅産業観光課長 定住に至っている方は就業目的での生活設計が明確であるケースが多いと認識しています。

定住に至らない方は、就業機会の制約や生活環境の複合的な要因があると捉えています。

石野議員 一般移住者が島を去る理由の把握と、それに基づく、どのような実施を施策に反映させていきますか？

隅産業観光課長 個別の理由を把握することは、フライパシーへの配慮から聞き取りしていません。可能な範囲で関係者からの話を参考に傾向を把握しています。

石野議員 将来人口の目標値とビジョンを伺います。

隅産業観光課長 利島の情報発信の充実や交流イベントの実施、移住定住に向けた相談窓口の充実について検討していきます。

具体的には、仕事の創出や生活基盤の維持について既存事業者への支援に加え、新たな担手の確保につながる政策についても検討を進めて行きます。

石野議員 島を出なければ出産できない現実、重度介護で島を追われる不安、持病の通院に掛かる旅費等、物理的経済的障壁は極めて深刻な状態です。これらの事態に対する具体的な到達目標を示して下さい。



榎本住民課長 常勤の保険士を2名配置して、妊娠前から修学前まで、継続的な搬送型支援の体制を整えて、「困った時に相談できる先がある」と云う実

感が出来る環境作りを目標として進めていきます。

石野議員 重度介護者の受け入れ体制や食事制限が必要な方の対応を伺います。

榎本住民課長 平成福祉医療グループの協力のもとに連携をさらに強化して、診療所と社会福祉協議会が情報を共有しながら、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等の専門職による、リハビリ支援や介護、予防体制の充実を図ります。

石野議員 延泊した場合の宿泊費補助の現状の経済的負担を具体的にどう緩和しますか。

村山村長 特に欠航時の宿泊の負担は、村民生活に大きな影響を及ぼしていると認識しており、国に対しても島民の負担軽減について要望を行っています。

石野議員 村長の方で国等の力を借りても何とか利島に実現できるようにお願いします。

議員は、交通事情に依る延泊のみを対象に要望していますが、時に合わせて、「旅費の在り方自体の改善を求めたい」と云うのが、長年の住民の声です。

船賃も結構上がりました。延泊は、その延長上に位置付けて取り上げて欲しいものです。

村は、「国に要望している」との答弁ですが、国待ちではなく、村の

事業で取り組めないでしょうか。住民要望が地方自治体で実施されて、それが国民的世論となつて都や国が後追いで実施する事象は多々あります。 **「世間」**

焼却場建設

石野議員 入札不調と云う現実を踏まえ、スケジュールと実態との間に、どのような乖離が生じていると認識していますか。建設が困難となった場合の代替案は検討していますか。

村山村長 現時点では、建設実現に向けて努力しています。一方で、建設が困難となった場合に備えて、代替的な処理方法や処理体制について調査と検討を行っています。

産業振興と働き方

石野議員 棒産業に於いては経営主体である農協の自律的努力が主軸であり、水産業についても施設の有効活用と云う課題が山積しています。

今年度の産業振興と働き方を通じて、経済効果の達成度をどれだけの数値まで引き上げることを目標にしていますか。

村山村長 数値目標を定めている訳ではなく、東京都の支援メニューを活用しながら利島の

産業にマッチした物を導入していきたいと考えています

議案

(★議案番号と利島村は省略)

【村税条例の一部を改正する条例(制定)】

榎本総務課長 改正は軽自動車税関係の納税通知書等の表記の変更、公的年金等受給者にかかる関係の一部控除対象者に於ける申告書の記載事項の整理、固定資産税及び個人村民税関係の住宅ローン控除にかかる適用期間等の納付書、若しくは申告書に関する条例上の整理規定が主です。何れも税率や税額に変更はありません。

討論

討論無し。 **「世間」**

《全議員賛成 可決成立》

減債基金条例の一部を改正する条例(制定)】

本条例の改正目的は、「国債を買う為の措置」と云われています。他の条例改正案、補正予算案、人事案件、契約案件の議案審議の状況は割愛します。

何れも全議員一致で可決、同意、承認しています。 **「世間」**

3月議会に於ける議案審議の内容

議案

(★議案番号と利島村は省略)

【個人番号の利用、及び特定個人情報提供に関する条例(制定)】

榎本総務課長 本条例は、予防接種法に基づく定期予防接種とは異なる、任意予防接種事務に限定し、本人確認や資格確認を適正、かつ効率的に行うため制定するものです。施行期日は、交付の日からとします。

討論

討論無し。 **「世間」**

《全議員賛成 可決成立》

【水産加工施設条例(制定)】

萩野産業観光課長 水産物の付加価値向上を図るため、水産加工施設を整備しました。

この施設は、村の公共施設となるため、必要な事項を定める

条例を制定するものです。

討論

石野議員 加工品になると、どうしても値段が高くなる傾向にあります。住民が買い易く、かつ運営が成り立つ施策となるよう、村は支援される事を願って、原案に賛成します。

【まごえんがわ設置条例(制定)】

榎本総務課長 住民の交流の促進、多様な働き方の支援、子育て環境の向上を目的とし「まごえんがわ」を設置します。

討論

討論無し。 **「世間」**

《全議員賛成 可決成立》

榎本総務課長 予約システムを通じて、スマートフォンでの開錠にするか、ICカードで開錠にするか検討中です。

木村議員 営業時間が朝6時から22時迄の内、スタッフがいない時間帯は常時誰でも出入りが可能か伺います。

隅総務課主幹 認識されている通りです。

石野議員】スタッフがいるのは何時から何時までですか？

隅総務課主幹】現時点では、8時半から17時15分迄です。

石野議員】営業時間を「朝6時から」と設定した理由を伺います。

隅総務課主幹】「多様な働き方に対応」と云った面でも、「多様な働き方に対応」と云って

も、「この時間帯の利用は日帰り来島者の休憩位でしょうか。職員は、全くと云います。

そうなら、何も営業時間を定める必要もなさそうですが？

そう云う訳にもいかない事情でもあるのでしょうか？

石野議員】スタッフが常駐する部屋は、自由に利用出来ますか。

隅総務課主幹】スタッフが常駐する部屋は事務室なので、スタッフが業務を行う場所になります。

石野議員】事務室以外の施設は自由に利用出来ますか。

隅総務課主幹】自由に利用できます。

井口議員】施設の案内を周知するとともに、簡単に利用できるように配慮を求めます。

隅総務課主幹】住民への周知については、予約システムと新

しいシステムが入るので、運用の目処が立った時点で周知できるように検討していきます。

石野議員】私は「部屋の使用料を取った方がいい」と提案しています。住民からも同じ意見が聞かれています。

再考の余地はありませんか？

隅総務課主幹】多くの方に制限なく利用頂きたいと云うのが、本施設の主旨ですので、現時点では利用料は考えていません。

【討論】

【全議員賛成 可決成立】

【一般住宅条例の一部を改正する条例(制定)】

前田環境建設主幹】仮称久保里山第2住宅を一般住宅条例の別表に追加規定します。

当住宅設備は太陽光発電と水循環システムを導入しています。

光熱水費の効果を家賃への反映については、水循環システムで生活排水部分の水道料金は若干安くなるものの、太陽光発電は同システムの稼働に利用するため、入居者への直接的還元は小さく家賃には含めていません。

部屋の数、家賃については、村に問い合わせ下さい。

木村議員】水循環システムの実証実験では、日用品の使用に

一部制限があったと思います。この住宅でも何か制限がありますか？

隅総務課主幹】トイレには制限はありません。洗濯には洗剤とか、浴槽にはシャンプー、ボデイソープ等に一部使用制限の可能性がありますが、概ねは使える状況になっています。

石野議員】トレーラーハウスでの実証実験結果を基に施設した住宅と認識しています。

トイレの汚水を浄化槽に流し込むと云うのでは、どの分が再利用されるのか伺います。

隅総務課主幹】台所の排水と洗濯、風呂の排水を浄化した水は、洗濯と浴槽とトイレに使用します。水質は担保されているので使用する上で特に支障がないと考えています。

井口議員】久保里山住宅は世帯用が7万円、単身者用が6万円で差が開き過ぎています。

改定する予定はありませんか。

加藤副村長】久保里山第2住宅は久保里山のロクハウスに比べて世帯用、単身者用共に面積が狭いので安く設定しました。

数年後の状況によっては「改めて検討したい」と思っています。

【討論】

【全議員賛成 可決成立】

【火災予防条例の全部を改正する条例(制定)】

「広報」4月号の折り込み記事を参照下さい。

【討論】

【全議員賛成 可決成立】

【令和8年度一般会計予算】

令和8年度は、清掃センター更新や物流設備の更新など生活基盤を維持するための事業を中心にした予算をなっています。

総務費、5億534万円の主な事業は、高齢者の健康増進や地域活力の向上を目指した高齢者の健康増進と生涯創出事業、農業漁業振興を持続支援するサステナブルアイランド支援事業、移住定住促進事業などを実施します。

他に、納税通知書の電子化を行い、住民の利便性向上と行政事務の効率化を図ります。

民生費は、2億4458万円を計上しています。

社会福祉協議会の運営支援を強化し、見守り体制や相談体制の維持、老人クラブ支援事業などを通じて、地域福祉の充実と支え合いの仕組みづくりを進めて

いきます。

衛生費は、4億5126万円です。ゴミ処理施設整備事業費を計上しています。

母子手帳や検診予防、接種予約などを連携するアプリの導入によるDX(デジタル化による効率化に留まらず、新しい価値やサービスを創出する)推進事業により、子育て支援の利便性、向上を図ります。

農林水産費は、1億6133万円計上しています。

モノラックの点検整備や椿生産向上実証事業、農業振興事業などを通じ、椿産業の持続的発展を支援していきます。

サザエの稚貝放流などにより、水産資源の維持にも取り組みます。

商工費は、3億3762万円計上しています。

定期航路運営補助の他、物流作業で使用する自操式クレーンの更新や車庫整備事業を実施し、物流基盤の維持を図ります。

土木費は、2億6779万円です。村道無電柱化事業や道路整備維持、村営住宅の維持管理を実施します。

教育費は、1億9119万円を計上しています。

海外短期留学事業、学校ICT環境整備、学校設備、学校施設の改修などを実施します。

令和8年度予算は、生活基盤

【討論】

の維持更新、産業の振興、福祉教育の充実に重点を置き、持続可能な島づくりを進めるための予算として編成しています。

以上で説明を終わります。
木村議員 漁業振興事業費について説明願います。

隅総務課主幹 加工場の脇に深い沢があるので転落防止の安全策を設置するための費用です。

木村議員 村内無電柱化事業で、何処の工事を行うのか。教えて下さい。

榎本総務課長 今工事をやっている港湾道路と都道のロータリーの部分までと清水橋からロータリーまでの部分の工事になっています。

木村議員 高齢者の散歩アフリもデジタル村史も今年度で完了して、村民に発表出来ずか。

隅総務課主幹 来年度に關しては、散歩アフリは健康との連携構築を行う事になっています。村史のデジタル化は来年度AIを導入した電子表示機器を活用して情報を発信するシステムの検討を行っています。

木村議員 南ヶ山園地の樹木の伐採委託事業を分割した理由を伺います。

荻野産業観光課長 低木と生垣の管理はしてなかったもので、今回列予算で事業化しました。

木村議員 工事請負費に道路

維持作業が含まれて、増額している理由を説明願います。
前田環境建設主幹 増額の700万円は、大の根線で大雨が民地へ流れ込む場所があるため、その改良工事を行います。
木村議員 地震津波警報システムの委託料が300万円程度の減額となっている理由を伺います。
隅総務課主幹 緊急事態を国から住民へ瞬時に伝達するシステムの改修を終えて、通常委託となったことによる減額です。
木村議員 海外派遣の短期留学事業について説明下さい。
三室教育長 コロナ期間中に海外派遣留学に参加できなかった9年生を対象に、異文化交流を図る目的で1週間フィリピンへ行く計画をしています。
木村議員 スタディツアー支援事業の説明をお願いします。
三室教育長 学校の教育課程以外で子供たちが自分の関心事に応じて異文化を学ぶ計画を立てて、研修旅行に行く制度を取り入れて、その補助分を計上しています。
高田議員 多目的教室、PC教室、宮塚ルームの施設は用途の再定義がされる改修と伺っています。どのような利用を想定しているのか、説明下さい。
三室教育長 私は「学校施設

は、村民も自由に使える環境が良い」と思っています。

具体的には、学校と調整しながら、部屋のみならず様々な場所を、どんどん解放していきたいと思っています。

学校は通常ですと、不審者であるとか、防犯上の対策と云う議論になります。その意味では利島は「非常に恵まれている環境に在る」と考えています。

村の人たちが自由に学校に来られて、子供たちを支えて頂ける環境が出来るように検討しています。

井口議員 苗木生産事業補助金の190万円は、何本の生産予定ですか。
荻野産業観光課長 5000本です。

井口議員 今まで何本位植栽されていますか。
荻野産業観光課長 今年度から200本の植栽をする計画で進めています。

井口議員 何処を優先的に植えるのか。どのような形式で事業実施しますか。
荻野産業観光課長 苗木の生産は、農協が自主事業として取り組んでいます。

植栽事業の実施は、農協に委託しています。植栽実施に当たっての具体的な事項は、農協に問い合わせ願います。

井口議員 村営住宅修繕費3642万2千円を説明下さい。
前田環境建設主幹 1棟の外壁の塗装工事、内装の回収2件分、2棟分の屋根の改修、3棟の玄関ドアの改修、全戸の火災警報器の交換となっています。

井口議員 からは、この他に新焼却場建設予定地にある、クレーン車庫の解体工事費9千394万円、地域プロジェクトマネージャーの報酬、スクールサポート会計年度任用職員の人権費260万3千円について質疑がありました。【笹園】

石野議員 椿害虫駆除費の委託料819万9千900円に關わって、昨年監査委員から指摘の在った事案について確認します。

荻野産業観光課長 合羽、防毒マスク等の消耗品は、来年度から支給する事になっています。

石野議員 村営住宅の内装の改修工事に該当する居住者は、仮称・久保里山住宅に優先的に入れるのか伺います。

前田環境建設主幹 仮称ではなく、条例可決して頂いたことで、正式名称が付いています。

内装の2件としたのは、これまでの実数から平均を取った見込みです。改修は、退居した後保里山第2住宅入居に限らず、島外に出られた場合も含めて実施す

る想定をしています。
石野議員 道路清掃管理委託と公園の清掃委託料の金額は、新しい方法で業務を委託するに当たっての積算額でしょうか。

榎本総務課長 予算の全てに共通することですが、業務の事業量によって積算しています。

業務に変更が生じて当初の予算を超える時は、補正予算、若しくは予備費の流用で対応するとか、或いは業務量を縮小するとか、場合によっては中断、若しくは中止する事になります。

その結果、金額が動く可能性は否定できません。

議員の云う、何が「新しい方法」なのか。意味が不明だったので、村に問い合せたところ村は、「昨年迄は一般競争入札としていたのを、今年から随意契約にした事を、「新しい方法」と云っているのではないかと話していました。

その上で、清掃業務は、その美化を維持する上で継続して行えることが重要で、委託先を従来の価格だけで決める入札方式から、見積書の提出を必須条件として、次の条件を満たす随意契約方式に改めました。

一、地域の状況をよく知っていること。
一、作業がきちんと出来る体制にあること。

一、継続して安定的に対応できること。

と。

などを総合的に判断して決める。
「希望すれば、誰でも受けられる仕組みではない。と云って、特定の個人や事業者にも有利になるような仕組みではなく、条件は同じで、公正公平に募集する」と云っていました。||世岡

石野議員 「金額が動く可能性を秘めている」と云うことは「補正まで考えて委託する」と云う事ですか。

榎本総務課長 「事業執行するに当っては、事業受託希望者が見積もり書を提出する事が条件になっています。」

見積書の提出が無かった場合、及び全く業者が居なかった場合、若しくは見積り額が予算額を超えている場合は、事業の中止も含めて、事業内容の変更が別途改めでの検討課題となります。見積り額に合わせて「増額する」と云う事は考えていません。不測の事態に在った場合でも、直ちに清掃業務を中止する事は考えていません。

議員は承知の上で、「質疑している」と思いますが、新しかろうが、古かろうが、予算措置策は総務課長が説明した通りで、それに尽きます。

補正予算案は随時の臨時議会での提案も可能です。||世岡

石野議員 製油の在り方検討業務委託は、農協とも話が付いて

いますか。
萩野産業観光課長 製油センターの従事者とは、何回か打ち合わせしています。

村は、他の事業との兼ね合いもあり「直ぐには建てられない」と云うところもあったので、現工場の長寿命化も含めて「一旦整理した方がいいだろう」と云うことで、村独自で進めてきました。

議員が云う「製油の在り方検討業務の委託」とは、「あしたば」前号(211号)の3ページ「椿産業の振興」の石野議員の質問に対する笹岡の注釈を参照下さい。||世岡

《討論》

本稿より抄録

石野議員 私は、8年度一般会計予算案に反対の立場から討論を行います。

福祉の予算が増えている一方で、お年寄りが最後まで、この島で暮らせる体制作りを訴えていても体が動かなくなれば、最後は「住み慣れた島を出ていかなければならない」という寂しい現状にあります。

介護の体制や重度化にしても仕組みが整う方向の体制がありません。

教育に力を入れて呼び込まれた人々が、自分や親の老後を考

えた時に最後まで居られない島に、本当の意味で根を降ろせるでしょうか？

人生の最後まで安心して暮らせる、安心感が今の予算の先にあるビジョンには、まだ不足していると感じざるを得ません。

予算の全てを村民に開示して、納得を得るプロセスが不可欠であり、住民の信頼を得る唯一の道ではないでしょうか。

終りに、「最後まで島で暮らせる」形にまで、予算が結実して未来への夢と今の安心が備わった予算案を村民と共に作り直して、全ての情報が村民に開かれたものになる事を強く願って、反対の討論と致します。

《討論》

本稿より抄録

木村議員 私は、本予算案に賛成の立場から討論を行います。

本予算案は、教育を通じた未来の投資が行われている事を評価して、以下の意見を付して、本予算案に対する賛成討論とします。

【付帯意見】財政の健全性は極めて重要でインフラ整備の執行にあたっては、コストの精査や費用対効果の検証は

今後とも求めています。||世岡



議会を視聴して

議員の一般質問

現、議会議員の一般質問では、この2年近く間、住民の意見や要望の提案が出されたのは一部の議員から、数回程度まれに聴かれたくらいです。

それも一度在って、それ切りです。

かつての議会では、島外医療受診の際の旅費助成、補聴器の購入費助成、奨学金の半額を給付、中学生までの医療費の無料化、椿林放置林の整備、道路に被さる樹木枝の除伐、雨天時の棧橋内に於ける乗降客の車輛送迎等々、新たな事業の実施と従来の施策の改善を求める要望や村政上の課題に対する意見が繰り返し提案されてきました。

行政にしてみれば、時には「又、その話か」と思われた事も多々在ったかも知れません。例え、そう思われたとしても「住民の要望や意見に関する質問は、実現を以て解消される」と云う考えでいました。

この考えの基には「住民の要望は、自己の考えに優先する」との認識でいました。それと云うのも、自分の今ある議員と云う身分は、住民に与えられている」と云う認識にあったからに他ならないからです。||世岡

いま注目のしんぶん赤旗
あなたも読みませんか
日本共産党